

まちなか地区で様々な福井の独自性を感じさせる。

- 福井を感じさせ、触れることへの期待感を抱かず空間→空間演出へ  
福井市を感じさせるとともに、  
福井県全体の奥行きを感じさせる（各地の多様な魅力を感じさせる。）
  - ・産業を感じさせる。
  - ・歴史文化（戦国時代、〇〇〇、幕末期、〇〇〇）
  - ・伝統芸術
  - ・食文化
  - ・市民活動
  
- 長期戦略推進を空間的にサポートする。  
福井県や福井市の将来に向けた県・市経営骨格的戦略、  
事業者や企業界の活動戦略の中で  
郊外部の役割、当地区 or 中心市街地周辺の役割を明確化  
そして  
受け皿としての地区の空間演出戦略シナリオを民官協働で作成  
→空間演出へ
  
- 県・市を舞台に新たな都市活動を開始  
これからの時代（低成長、環境重視、高齢化の時代）を考慮した
  - ・工夫実験の都市（市・県）へ
  - ・新たな創造者の発掘・育成の場へ →空間演出へ
  
- 市民の集まりやすい、豊かな時間を過ごせる地区に  
市民、県民のアイデンティティ形成の場へ  
福井らしい空間の質を持つ →空間演出へ
  
- 空間演出（都市デザイン）の視点  
福井の街を魅力ある（住みよい、歴史ある、前進する）都市として、他県・全国に伝え（アピール）、来街者（観光客・消費者）増や進出企業増に役立てる。
  - ・福井城跡周辺をシンプルに整理・整備し、シンプルに歴史を伝える場に
  - ・お堀周辺を歩行者中心の空間へ（堀沿いの散策空間など）
  - ・お堀周辺建築物の街並み景観演出（建物形態・色彩・広告物）
  - ・駅前広場空間から福井城跡への見通し軸を形成、演出
  - ・玄関口である中央大通り沿いの街並み景観演出（建物形態・色彩・広告物）
  
- 空間演出の実践上の配慮
  - ・全体の空間形成戦略を持たないと演出は成功しない（アピール力は無くなる）  
（それぞれを自己主張させない。個々バラバラな印象を与えるだけ）
  - ・海外や他都市の成功事例の取り組みの推進体制やプロセス、地域の企業、市民、行政の役割や実践プロセスなどを学ぶ。
  - ・福井独自のデザインを。（表面上の姿だけの繰り返しに見えることはやめる。）